

総務経済常任委員会

地理的好条件を活かす政治力



寄居PAスマートIC周辺開発について調査研究しています



文教厚生常任委員会

女性の就業率上昇に伴う子育て支援策



保育サービスの充実・環境整備について調査研究しています



1月27日、静岡県駿東郡小山町の(仮称)小山PAスマートIC周辺の開発、企業誘致等の取り組みについて視察しました。

小山町では企業誘致のほか定住の促進も



国・県との連携で大型事業推進

平成25年に国土交通省・静岡県・中日本高速道路(株)と小山町で地域協議会を設立し、平成32年開通予定の御殿場ジャンクション〜海老名ジャンクション間に設置が計画されています。平成26年に静岡県の「内陸フロンティア推進地区」の指定を受け、地域の観光資源を活用した観光関連施設やモータースポーツ関連産業の集積、防災拠点の創生を図ろうとしています。

内陸フロンティア構想

内陸フロンティア構想は、南海トラフ巨大地震(*13)等の有事に備えつつ、平時における産業振興や地域活性化を目指す静岡県の取り組みです。区域内の土地利用構

庁舎から“世界遺産”富士山を望む



1月28日、静岡県富士宮市の病後児保育を含む保育サービス及び子育て情報発信の取り組み等を視察しました。22保育施設が市内にあり、2350人の保育を行っています。女性の就業率上昇に伴い27年度は初めて待機児童が発生しています。

情報発信の重要性

子育て支援のための情報提供は、25年から民間業者との共同開発により子育て応援のWebサイトを開設。企業広告を活用し、官民連携により経費の軽減を図っています。また、子育て情報を毎月配信

第6次三ヶ山地域開発調査特別委員会

エコ計画(株)群馬エコスペースを視察

2月8日、エコ計画(株)群馬エコスペースを視察しました。同社は、昭和56年に安定型埋立処分場を設置以来、35年間無事故。今回視察した第6期処分場は、新基準に合致した群馬県内初の安定型埋立処分場として平成27年に完成。埋立容積は56万6248立方メートルで、処分場壁面はモルタル吹きつけ、底面には、厚さ150ミリメートルのベントナイト(*14)が敷き詰められており、無害、難透水性の構造になっています。埋め立て完了後は植栽、緑化により、森林へと復元する計画です。



資源循環工場内1社の事業廃止と継承

三ヶ山地内にある資源循環工場の1社である埼玉環境テック(株)より事業廃止の申し出があり、新たに八潮市にある豊田建設(株)が事業継承するとの説明がありました。事業内容が前社と同様の建設廃材の再資源化であること、従業員の再雇用や事業計画に前向きな姿勢が見られることから了承しました。

「金太郎生誕の地」と言われる小山町



静岡県「内陸フロンティアを拓く取り組み」

想では、地域農産物関連エリア、新産業集積エリア、エネルギー開発エリアなどに加え、移住・定住を促進する区域も設けるなど、防災減災・地域成長の総合特区制度となっています。地理的好条件を活かした好事例と言えます。視察後、本件につき、引き続き調査研究することとしました。

富士宮市では23年から病後児保育を実施



静岡県富士宮市「ママフレ」

する無料のメールマガジンには、550人が登録。保健センターの情報配信のほか、民間の無料ブログサイトを活用し、保育士からの子育てアドバイスなどを掲載しています。今後の課題としては、情報の更新増やSNS活用により検診等のポイント情報の配信などに取り組みたいとのことでした。視察終了後、本件について引き続き調査研究することを決定しました。

学ぶ

2/12 美里町議会と意見交換 近隣議会とさらなる連携を

寄居町議会では、ホンダ寄居工場・小川工場の建設を機に、小川町議会とは平成19年度から、東秩父村議会とは26年度から交流会を行い、北條まつりにはともに議員隊にご参加いただいています。

美里町議会とは、寄居PAスマートICの開設が迫っていることから、昨年7月に続き2月12日に意見交換会を持ち、スマートICやアクセス道路の進捗状況について説明を受けた後、活発な意見交換ができました。今回は美里町役場で開催



今回は美里町役場で開催

(*14) ベントナイト…粘土の一種。水を吸うと10倍以上に膨張し、強力な粘性を発揮します。無機物のため公害の心配はありません。

(*13) 南海トラフ巨大地震…日本列島の太平洋沖、「南海トラフ」沿いの広い震源域で連動して起こると警戒されているマグニチュード9級の巨大地震のことです。